

創業100周年記念祝賀会

佐藤渡辺

持続的に成長する企業へ

「誠実、創造、最高の技術」脈々と

佐藤渡辺は19日、東京都港区の東京プリンスホテルで創業100周年記念祝賀会を開いた。来賓を含め関係者ら273人が出席。100年の節目を祝うとともに、さらなる飛躍に向け決意を新たにしました。

佐藤渡辺は1923年12月20日に創業した個人営業の渡辺組、51年設立の成和土木(72年佐藤道路に改名)が前身。2005年10月に両社が合併し佐藤渡辺としてスタートした。道路建設や舗装分野の技術開発にも注力し、高品質・安全施工を通じて社会資本整備の発展、充実に貢献してきた。

祝賀会の冒頭、石井直孝社長が「社は『誠実、創造、最高の技術』に込めた何事にも誠実に対応し、社会に奉仕するという精神が脈々と受け継がれている。担い



手不足への対応や働き方改革などさまざまな課題にチャレンジし、持続的に成長する企業を目指していく」と語った。

来賓の斉藤鉄夫国土交通相は「若者が集い、選ばれる魅力ある産業になるよう、国交省も働き方改革や生産性向上、処遇改善に全力で取り組んでいく。100周年を機にさらなる飛躍を期待している」と話した。自民党の佐藤信秋、足立敏之両参院議員も長年にわたる同社の功績をたたえた。

渡邊忠泰会長は「過去の100年に感謝を込め、新たな100年へ出発したい」と決意を述べ、力強い発声で乾杯。会場は大きな拍手に包まれた。この後、関係者による鏡開きも行われ全員で100年の節目を祝った。写真。

